

令和4年度事業報告

1 海外ビジネス支援事業

(1) コーディネーター、アドバイザーの配置

山形県国際経済振興機構（以下、「国際機構」という。）は、「県産品輸出コーディネーター」3名を常勤配置し、各種プロモーションの実施や、県内事業者の海外販路拡大に向けた海外企業等とのマッチング、商談支援、県内事業者及びバイヤー等からの取引相談対応など、海外ビジネスの事業化プロセスに応じた支援を行った。

また、「日中経済交流アドバイザー」、「ASEAN貿易アドバイザー」、「対岸貿易アドバイザー」に加え、新たに「上海貿易アドバイザー」を委嘱し、中国、ASEAN及び韓国等における県産品の認知度向上、販路開拓等への支援を行った。

各種支援にあたっては日本貿易振興機構（以下「ジェトロ」という。）山形貿易情報センター、山形県企業振興公社等の支援機関や県内金融機関と連携した取組みを実施した。

なお、令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大以降、難しい状況が続いていた渡航によるプロモーションや商談等を一部再開したほか、引き続き、オンライン商談会の開催等、ICTを効果的に活用するとともに、海外パートナーとの信頼関係による販売プロモーションの実施など、コロナ禍に対応した事業を展開し、県産品の認知度向上と取引の拡大に取り組んだ。

<相談対応・取引支援による成果事例（主なもの）>

業種 (品目)	国・地域	内 容
酒造会社 (日本酒)	台 湾	海外進出を目指す県内の酒蔵から相談を受け、酒の特徴等について聞き取りを行い、最適と思われるバイヤーを紹介し、新規取引につなげた。
履物製造 (室内履)	台 湾	米国で好調なルームシューズのメーカーから、さらなる販路の拡大について相談を受け、単発だった台湾向けの出荷が継続的なものになるよう支援し、定期的な輸出に結び付けた。
酒造会社 (ワイン)	中 国	中国のバイヤーから県内の酒蔵を通じて「山形のワイナリーを紹介して欲しい」との依頼を受け、ZOOMによる商談の設定等調整を図り、新規取引につなげた。

工芸品製造 (陶器)	中 国	中国の輸入商社からハルビン事務所を通じて山形県産の工芸品の取引について照会を受け、商社側のニーズに沿った窯元を紹介し、新規取引につなげた。
地域団体 (農産物)	マレーシア	コロナ禍で需要が落ち込む中、パートナーを通じて現地のニーズを把握。青果物取引が年間を通じて継続されるよう支援に努めるとともに、2年ぶりに精米の輸出を再開させた。
酒造会社 (日本酒)	マレーシア	日本酒の取引拡大を目指す新たなバイヤーに取引を提案。バイヤー招聘を実現させ、地元酒蔵とのマッチングを図り、新規注文に結び付けた。
食肉卸業 (牛肉)	豪 州	県産牛の継続的な輸出をサポートして、定期的な輸出（毎月の輸出）を実現させた。今後取扱量の増加が見込めることから、令和5年度は豪州では初となる県産牛、県産米を軸としたプロモーションにつなげていく。
工芸品製造 (工芸品)	米 国	ロサンゼルスでの県産食材プロモーションの際、県産陶器のサンプルを現地のバイヤーに持ち込んだことをきっかけに、県産の陶器・鉄瓶の取引が実現した。
生産者団体 (切花)	オランダ	地元からの輸出向けセミナー開催に関する要望を受け、パートナーにつないで実現させるなど、生産者とパートナーとの関係強化に努め、新たな輸出先となるオランダから受注につなげた。

(2) 助成制度

当機構の会員（一般会員）が海外見本市・展示会等へ参加する場合の出展費などの助成や海外向けインターネット販売への取組み（越境ECモール等への出店など）に対する助成を実施したほか、新たに、外国向けの販促ツールを開発する際の助成や海外で市場調査を行う際の助成など、助成制度の大幅な拡充を図った。

ア 海外渡航費助成

海外見本市、展示会、商談会、販売促進フェア、市場調査等へ参加するために渡航する場合の渡航費用に対する助成

- ・助成限度額：4万円又は実費のいずれか低い額
- ・助成実績：8件（7者）

イ 商談会・見本市等出展費助成

海外バイヤーが参加する国内外の商談会・見本市等（オンライン方式を含む）に出展する際に係る経費に対する助成

- ・助成限度額：5万円又は実費のいずれか低い額
- ・助成実績：13件（13者）

ウ 越境ECモール出店費助成【拡充】

越境ECモール又は国内企業のECグローバルサービスへの新規出店、海外向け自社ECサイトの構築又は多言語化に係る費用に対する助成

- ・助成限度額：5万円又は実費のいずれか低い額
- ・助成実績：1件（1者）

エ 販売促進ツール開発費助成【新規】

外国語版ホームページ、海外向け商品パッケージ作成、海外向け商品紹介パンフレット、商品PR映像、SNS広告等作成に係る経費に対する助成

- ・助成限度額：5万円又は実費のいずれか低い額
- ・助成実績：1件（1者）

オ 海外市場調査費等助成【新規】

海外取引を開始するために専門機関等による市場調査や信用調査等を行う場合に係る経費に対する助成

- ・助成限度額：5万円又は実費のいずれか低い額
- ・助成実績：10件（10者）

カ 輸出仕向国の法規制対応費用助成【新規】

輸入事前登録制度に係る登録商品の輸送費、国際基準に基づく認証の取得費、法や要綱等に基づく成分分析等の検査費等に対する助成

- ・助成限度額：5万円又は実費のいずれか低い額
- ・助成実績：1件（1者）

キ 外国出願費用助成【新規】

特許取得費、商標登録費、意匠登録費など海外における知的財産権の申請に係る費用に対する助成

- ・助成限度額：5万円又は実費のいずれか低い額
- ・助成実績：1件（1者）

(3) 翻訳サービス

海外事業を展開するうえで課題となる言葉の問題の解決を図るため、ビジネス文書、カタログ、電子メールなどの文書の翻訳サービスを実施した。

- ・対象言語：日本語⇄英語、日本語⇄中国語
- ・支援実績：29件（5者）

(4) 情報発信

国際機構の事業活動や他支援機関の事業情報のほか、海外ビジネス展開に有用な情報を収集し、ホームページやメールマガジン等で幅広く提供することにより、海外を対象とした事業展開意欲の喚起や関心の機会づくりを行うとともに、国際機構の活動の周知に努めた。

- ・メールマガジン発行回数：58回（月2回の定期号、臨時号）

2 県産品輸出促進事業

(1) 県産品輸出戦略事業

「山形県国際戦略」を踏まえ主要輸出対象国を定め、パートナー等の協力を得ながら、市場特性に応じた県産品の取引拡大・輸出拡大を図るため、販売プロモーション等を実施した。また、県産農産物の輸出促進に向けて、引き続きJAグループとの連携の強化に努めた。

① 県産品の海外販売プロモーション

国・地域	プロモーション名	開催日	開催場所	品目
台湾	寒河江産さくらんぼプロモーション	7月8日(金) ～7月10日(日)	微風広場復興店	さくらんぼ(紅秀峰)
		7月9日(土) ～7月10日(日)	遠東 SOGO 忠孝館	
	朝日町産りんご(中生種)プロモーション	11月10日(木) ～11月13日(日)	遠東 SOGO 忠孝館 微風広場 復興店、南山店	りんご(シナノスイート、王林)
	天童産ラ・フランス、シャインマスカットプロモーション	11月26日(土) ～11月28日(月)	遠東 SOGO 忠孝館 微風広場 復興店、南山店	ラ・フランス、シャインマスカット
	朝日町産りんご(ふじ)プロモーション	令和5年 1月13日(金) ～1月15日(日)	遠東 SOGO 忠孝館 微風広場 復興店、南山店	りんご(ふじ)
	山形県物産展	1月6日(金) ～1月8日(日)	裕毛屋公益店	加工食品、調味料等
香港	庄内産メロンプロモーション	7月15日(金) ～7月17日(日)	City Super 4店舗	メロン(青肉、赤肉)
	山形フェア	8月25日(木) ～8月31日(水)	City Super 4店舗	牛肉、桃、米、枝豆、菓子等

	置賜産ラ・フランスプロモーション 【拡充】	11月11日(金) ～11月20日(日)	MUJI 2店舗	ラ・フランス
		11月24(木) ～11月30(水)	UNY 1店舗	
	天童産ラ・フランス、シャインマスカット及び朝日町産りんご(ふじ)プロモーション	12月6日(火) ～12月10日(土)	City Super 4店舗	ラ・フランス、シャインマスカット、りんご(ふじ)
韓 国	日本酒プロモーション	11月4日(金) ～11月6日(日)	ソウル、釜山の飲食店	日本酒、ワイン
タ イ	朝日町産りんご(中生種)プロモーション	11月26日(土) ～12月4日(日)	フジスーパー 7店舗	りんご(シナノスイート、シナノゴールド、王林)
	朝日町産りんご(ふじ)プロモーション	12月16日(金) ～12月26日(日)	フジスーパー 10店舗	りんご(ふじ)
マレーシア	寒河江産さくらんぼプロモーション(クアラルンプール)	7月1日(金) ～7月3日(日)	B.I.G、伊勢丹 Village Grocer	さくらんぼ(紅秀峰)
	庄内産メロンプロモーション(クアラルンプール)	8月12日(金) ～8月14日(日)	B.I.G、伊勢丹	メロン(青肉、赤肉)
	置賜産ラ・フランス、シャインマスカットプロモーション(クアラルンプール)	11月25日(金) ～11月27日(日)	B.I.G、伊勢丹 Village Grocer	ラ・フランス、シャインマスカット
	庄内産柿プロモーション	12月9日(金) ～12月11日(日)	B.I.G、伊勢丹 Village Grocer	柿(庄内柿)
	朝日町産りんご(ふじ)プロモーション(ペナン)	令和5年 1月7日(土) ～1月8日(日)	Jaya Grocer	りんご(ふじ)
	朝日町産りんご(ふじ)プロモーション(クアラルンプール)	2月4日(土) ～2月5日(日)	B.I.G、伊勢丹	りんご(ふじ)
	シンガポール	日本酒プロモーション	7月20日(水)	現地レストラン(オンライン)

フィリピン	朝日町産りんご、ラ・フランスプロモーション (マニラ)	12月9日(金) ～12月11日(日)	ロビンソンズ 5店舗	りんご(シナノスイート、シナノゴールド、ふじ)、ラ・フランス
米国	県産食材プロモーション(カリフォルニア州トールランス)	8月30日(火)	ミヤコ・ハイブリッドホテル	つや姫、山形牛、日本酒
	「つや姫」プロモーション(ハワイ州)	12月2日(金) ～12月7日(水)	とんかつ銀座梅林ほか3店舗	つや姫

② 商談会

国・地域	名称	開催日	会場	参加事業者
台湾	株式会社裕源との商談会 (国内開催) *山形銀行との共催事業	8月24日(水) ～8月25日(木)	山形県庁	13社

③ バイヤー、パートナーの招聘

各国、地域の輸出パートナー等を招聘し、新規商品の提案、県内事業者等との個別商談のほか、生産現場の視察や生産者との意見交換を行った。

・台湾、中国、韓国、タイ、マレーシアほか 計14回【うち新規招聘者5件】

④ SNSを活用した情報発信

インスタグラム「awesome_yamagata」により、海外向けに輸出商材やその産地、生産者、生産過程におけるストーリーなどの情報を広く発信した。

また、8月に香港で開催した山形フェアでは認知度向上と販売促進のためインスタグラム広告を掲出し、消費者への訴求に努めた。

・インスタグラム発行回数：計98回

⑤ 新たなポータルサイトの運用開始

県産品の輸出拡大に向け、新たに事業者及び県産品(工芸品等)の情報を掲載したWebサイト「山形のいいものを世界へ!やまがたの工芸品・生活製品ポータルサイト」の運用を開始した。

・掲載状況：42事業者 405商品(令和5年3月末現在)

⑥ 台湾のホテル「山形閣」を活用した県産品の魅力発信

令和5年度から同ホテルの県産品展示コーナーの充実を図り、山形の四季をテーマとした企画展を実施するため、県産工芸品の追加展示品(深山和紙人形など21点)の準備を進めた。

(2) 関係機関・団体との連携強化による事業推進

県産加工食品等の輸出拡大を図るため、やまがた食産業クラスター協議会と情報共有を図りながら、輸出に関心のある事業者の掘り起こし等について連携強化に努めた。

また、中小企業基盤整備機構が主催するオンライン商談会「東北 Good (S) Selection2022 (令和4年8月22日～9月2日)」への協力を通じて、海外展開を目指す県内事業者の支援に努めた。

ジェトロ山形と県の主催による「デザイン産品・日用品海外バイヤー招へい商談会 (令和5年2月27日～3月1日)」の運営に協力し、海外へ販路を求める県内事業者への声かけを行うなど、海外の有力バイヤーとの商談機会の提供に取り組んだ。

(3) 海外取引支援 (機構独自取組み)

令和5年1月、台中市のスーパー裕毛屋公益店において山形県物産展を開催し、県産品の販売促進を図った。

令和4年8月に県からの委託事業として実施した米国ロサンゼルスにおける「県産食材プロモーション」で構築した現地バイヤー及び飲食店関係者との協力関係を活かし、引き続き「山形フェア」(令和5年3月17日～19日、レストラン「Kagura」)を実施し山形牛をはじめとした県産農産物等の認知度向上を図った。

また、輸入に取り組む事業者に対する支援の取組みとして、当機構のパートナーである海外バイヤーとのコーディネートを実施し、取引をサポートしたほか、大学等からの依頼による出前講座を実施し、県産品の輸出拡大に向けた情報提供とともに、当機構の取組みの紹介などにより、当機構の活用促進を図った。

3 ハルビン事務所運営事業

(1) 中国との経済交流の拡大

中国黒龍江省を中心に東北三省の都市における人脈の形成及び中国各地の貿易・事業環境等に関する現地情報の収集を行うとともに、日中経済交流アドバイザー及び上海貿易アドバイザーとも連携し、県産品の輸出促進や現地での事業機会の開拓、個別相談への対応に取り組んだ。

なお、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大以降、中国国内における経済活動は、感染防止措置の中での対応となっていたが、コロナ政策が大幅に変更された令和4年12月以降は、日中間の往来も含めて、徐々に回復してきた。

ハルビン市及び周辺地域では、感染者の発生による経済活動の制限や移動制限が繰り返されており、特に4月及び10月から12月は、各種イベントの中止や参加制限のほか、職員居住区の封鎖等により、事務所の活動はオンラインや現地へ物資を輸送し、業務を委託した形での実施となった。なお、春節後は、感染が落ち着いたことから年度末にかけて、リアルでのイベントや事務所直営の活動が増えた。

<主な取組み>

- ア 瀋陽ジャパンフェスティバルの県内企業支援 [6/11～6/13]
- イ 中国美食節ハルビン（展示会）の県内企業支援 [6/29～7/1]
- ウ 日本（山東）輸入商品博覧会（済南）の県内企業支援 [7/15～7/18]
- エ 山東省 RCEP 博覧会（臨沂）の県内企業支援 [8/19～8/21]
- オ ハルビン冰雪博覧会の県内企業支援 [3/17～3/19]
- カ 県内企業へ中国での商談会情報の提供・商談支援 [随時]
- キ 県内企業の対中国ビジネス活動支援（企業からの翻訳や調査依頼等への対応）
- ク その他、貿易・事業環境に関する情報の収集・提供活動、調査活動 等
- ケ 販売プロモーションの実施

日程	開催場所	プロモーションメニュー
6月20日	ハルビン市内日本ラーメン店 懐食拉麵小館（新規）	県産ラーメンスープ
8月4日 ～11月3日	北京市内日本料理店 串衛門（新規）	県産酒（日本酒、梅酒、柚子酒）
令和5年 2月22日	大連市内ホテル 大連富麗華酒店（新規）	県産酒（ワイン、日本酒）
2月24日	在瀋陽総領事館領事公邸（新規）	県産工芸品（陶器）
3月15日 ～4月15日	ハルビン市内日本料理店 千代武1～3号店	県産酒（日本酒、梅酒、柚子酒）
3月21日	貴陽市内日本料理店 懐食噴水池太平路店（新規）	県産酒（日本酒、梅酒）

（2）技術・学術・文化等交流の促進

県内の技術・学術・試験研究機関等の情報や本県の優れた文化・芸術等を黒龍江省政府等に提供・紹介し、黒龍江省と本県との様々な分野における交流のマッチングを支援した。

<主な取組み>

- ア ハルビン市尚志市へ介護、農業分野交流視察 [8/26～8/27]
- イ ハルビン市内日本料理店において日中美食交流 [11/18]
- ウ ハルビン第一中学校へ山形県の観光・文化・留学情報の紹介 [オンライン、12/14、12/16]
- エ 東北文教大学と伊春職業学院の介護分野交流支援 [不定期で情報提供]
- オ 山形県と黒龍江省との定期協議の調整・開催 [3/30開催]

(3) 観光誘客等に向けた山形ファンづくり

本県とゆかりのある団体や人材との人脈ネットワークづくりや現地旅行社への情報発信などにより、中国における山形ファンづくりを進め、観光PRや本県への観光誘客等に取り組んだ。

<主な取組み>

- ア 日中国交正常化 50 周年記念レセプションにおいて山形県の観光、県産酒、工芸品等をPR〔在青島総領事館 9/6、在瀋陽総領事館（委託）9/21、日本大使館（委託）11/1、在大連領事事務所（委託）11/15〕
- イ 中国からのインバウンド観光誘致にむけた大連市内旅行社との打合せ〔11/27、11/28、2/22〕
- ウ 在重慶総領事館主催新年祝賀レセプションにおいて山形県の観光、県産酒、工芸品等をPR〔2/17〕
- エ 天皇誕生日祝賀レセプションにおいて山形県の観光、県産酒、工芸品等をPR〔在瀋陽総領事館 2/23、在広州総領事館 3/7、在重慶総領事館 3/23、在大連総領事館 3/24〕
- オ 東北観光セミナーへ参加〔3/9 広州、3/18 上海、3/28 大連〕

4 国際機構創立 10 周年記念事業

国際機構は、平成 24 年 7 月の設立から令和 4 年で 10 周年を迎えたことから、6 月 13 日開催の定時総会後に、独立行政法人日本貿易振興機構の中国北アジア課長中井邦尚氏を講師に迎え「ウィズコロナ期の台湾・香港経済の行方」と題し、創立 10 周年記念講演を開催した。また、国際機構の 10 年の歩みを振り返る記念誌を作成した。

5 理事会・総会の開催

(1) 理事会

① 第 1 回理事会

- 開催日 令和 4 年 5 月 26 日（木）
- 議 題
 - ・令和 3 年度事業報告、収支決算について
 - ・令和 4 年度収支予算の補正について
 - ・役員を選任について
 - ・令和 4 年度定時総会の招集日及び議事に付すべき事項について

② 第 2 回理事会

- 開催日 令和 5 年 3 月 24 日（金）
- 議 題
 - ・令和 4 年度収支予算の補正について
 - ・令和 5 年度事業計画、収支予算、役員報酬について

(2) 総 会

① 定時総会

開催日 令和4年6月13日(月)

- 議 題
- ・ 令和3年度事業報告、収支決算について
 - ・ 令和4年度事業計画、収支予算について
 - ・ 令和4年度役員報酬について
 - ・ 役員を選任について

6 会員の状況

国際機構の会員は、正会員及び賛助会員からなっており、正会員が一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員となる。

<会員区分別入会者数>

会員区分		令和4年度当初		期中増減		令和4年度末	
		会員数	口数	会員数	口数	会員数	口数
正 会 員	一般会員 (県内事業者・個人)	115	145	増 10 減 △9	10 △10	116	145
	特別会員 (県市町村)	22	54	増 - 減 -	- -	22	54
	合計	137	199	1	△1	138	199
賛助会員		8	8	増 - 減 △1	- △1	7	7

7 附属明細書について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。